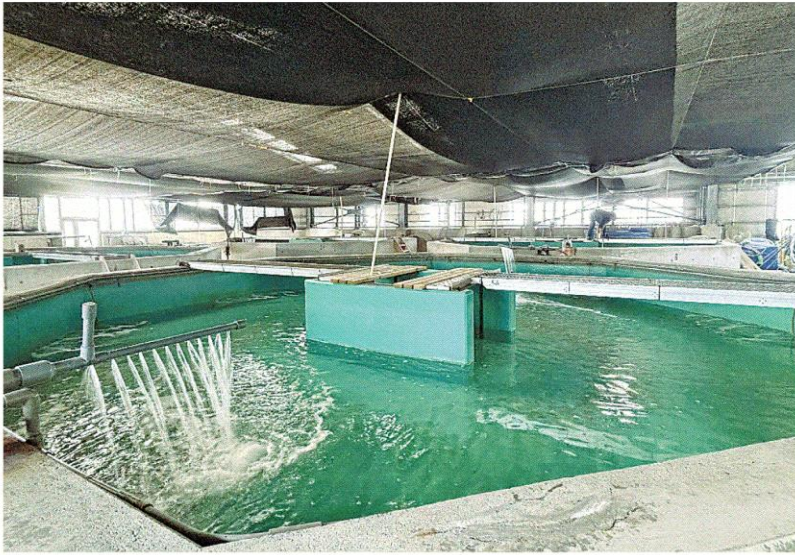




城下カレイの漁獲量増やせ

マコガレイ（城下カレイ）の中間育成施設。8基ある水槽のうち2基に緑色のLEDライトを導入する＝日出町



育成施設は容量50トの水 槽8基を備え、マコガレイ 年、おおむね約6万匹受け

緑の光で成長促進

日出町

【日出】日出町特産の城下カレイ（マコガレイ）の漁獲量を増やそうと、町は2024年度、中間育成施設に緑色の発光ダイオード（LED）ライトを導入する。県内のヒラメ養殖の現場では、緑色光を当てると成長を促進させるとの実証が進んでおり、技術を応用する形。稚魚のうちは病気やストレスに弱いため、一定の大きさに育つのを早めることで死ぬリスクを減らし、効果的な放流につなげる。

育成施設にLED導入へ



中間育成施設の水槽で
すくすくと育つ稚魚

入れている。このうち約5万匹は3カ月間で体長5センチで育て、別府湾沿岸の4カ所で放流。約1万匹は10カ月かけて12センチ以上にして日出町沖に放している。

LEDライトは8台購入し、12センチ以上に育てる2基の水槽で使用する。事業費は260万円。日中に約7時間、照射する。2基の水槽は内部表面を緑色に塗装する工事をほぼ終えた。県によると、緑のLEDライトは佐伯市と津久見市のヒラメ養殖施設8カ所でも取り入れている。飼育開始から1年後には通常に比べて約1・6倍の重さに育つとの結果も出たという。緑色光には、食欲を増すホルモンの分泌を促す効果があるらしい。

（中野暁男）



〔問①〕 日出町特産の「城下カレイ」とは、種類は何ですか。

〔問②〕 育成施設では体長約3センチの稚魚を受け入れて、大きくして放流しています。別府湾で放す体長5センチまで育つには何か月間かかりますか。日出町沖での12センチ以上は何か月間ですか。

〔問③〕 緑色光を当てるとどういった効果がありますか。

〔問④〕 飼育開始から1年後には、通常に比べて緑のLEDライトを当てると何倍の重さになりますか。

〔問⑤〕 あたなの自治体の特産品（1次産業品）を調べ、育成の工夫も調べてみよう。